

Game Report

開催場所：日本経済大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 11 月 2 日(土)

試合時間：16：40～

CC：岩尾 圭治

U1：樋口 俊司

U2：久原 裕未

日本経済大学	○ 90	21	—1st—	14	● 67	鹿屋体育大学
		25	—2nd—	12		
		21	—3rd—	12		
		23	—4th—	29		

第 1 クォーター

両チームシュートが入らない緊迫した雰囲気、第 1 クォーターがスタート。均衡を破ったのは鹿体大 # 1 2 川尻のジャンプシュート。対する日経大は # 9 9 蔡のバスケットカウント、# 4 5 山田の 3 P シュートで流れを相手に渡さない。中盤以降、日経大はオフェンスリバウンドから得点を重ねる。対する鹿体大も、# 1 2 川尻のオフェンスリバウンドからのシュートで食らいつく。終了間際、鹿体大がスクリーンからオフェンスを組み立て、3 P シュートを打つも決めることが出来ず、21-14 の日経大リードで第 1 クォーターを終える。

第 2 クォーター

日経大のファストブレイクで第 2 クォーターが始まる。対する鹿体大は # 2 5 野口がファウルをもらい、フリースローを 2 本とも決めて食らいつく。しかし、立て続けに日経大にシュートを決められ、残り 8：00 たまらずタイムアウトを請求。タイムアウト後、鹿体大は激しいディフェンスから # 1 2 川尻、# 3 5 櫻田が連続で 3 P シュートを決め、流れを引き寄せる。しかし、日経大も速攻から得点を確実に重ね、徐々に点差を広げていく。鹿体大も # 2 5 野口がレイアップシュートを決めて食らいつこうとするが、最後は日経大 # 2 1 張が 3 ポイントシュートを決め、46-26 で第 2 クォーターを終える。

第 3 クォーター

序盤、日経大が # 4 5 山田の 3 P シュート、# 9 9 蔡のゴール下シュートと、しっかりといいオフェンスを組み立てる。中盤以降、点差を縮めたい鹿体大は # 2 1 池浦のジャンプシュートで一矢報いるが、その後中々シュートを決めることが出来ず、残り 2：37 たまらずタイムアウトを請求する。その後、鹿体大は # 2 1 池浦の 3 P シュートで食らいつくも、日経大は集中力を切らすことなく激しいディフェンスを継続して鹿体大を大きく引き離し、38-67 で第 3 クォーターを終える。

第 4 クォーター

鹿体大 # 2 櫻谷の 3 P シュートで第 4 クォーターが始まる。序盤、鹿体大 # 2 3 松井、# 9 長谷川が 3 P シュートを決めるなど得点を重ねる。対する日経大も、リバウンドから点を立て続けに決める。中盤以降も日経大 # 2 1 張のバスケットカウント、鹿体大 # 1 2 川尻のドライブ # 2 3 松井の 3 P シュートなど、互いにいいオフェンスを展開する。終盤、鹿体大がジャンプシュートを立て続けに決めるも、日経大の足はとまらず、チーム全員で走り続けた日経大が 90-67 で勝利を飾る。